

横浜市下水道事業中期経営計画 2022（素案）に関する 市民意見募集の実施結果について

持続可能な下水道経営に向けた今後4年間の施策・事業運営・財政運営の方向性と具体的な取組を掲げた実施計画である「横浜市下水道事業中期経営計画 2022」の策定にあたり、素案に対する市民意見募集を実施いたしました。多くの市民の皆様から、本市下水道事業に関する貴重なご意見・ご提案をいただき、誠にありがとうございました。

このたび、市民意見募集の実施結果といただいたご意見に対する本市の考え方をまとめましたので、公表いたします。

1 実施概要

実施期間	令和4年9月20日から令和4年10月19日まで
意見の提出方法	オンラインフォーム、電子メール、郵送、FAX、直接受け取り
素案の公表場所	区役所広報相談係、市民情報センター、環境創造局下水道事業マネジメント課及び環境創造局ウェブサイト(下記 URL)で閲覧 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasengesuido/gesuido/keiei/chukikeiei/gesuityuuki2022.html

2 実施結果

提出者数	116名	
提出方法	オンラインフォーム 41、電子メール 4、郵送 12、FAX 0、直接受け取り 59	
意見数	221件	
分類と意見数	計画全般	20件
	計画の基本的事項	11件
	施策1 浸水対策	50件
	施策2 地震対策	24件
	施策3 良好な水環境の創出	10件
	施策4 循環型社会への貢献	4件
	施策5 維持管理	15件
	施策6 老朽化対策	6件
	施策7 温室効果ガスの削減	7件
	施策8 国際技術協力・水ビジネス展開支援	2件
	施策9 事業を担う体制づくり	8件
	施策10 下水道DX・技術開発	11件
	施策11 下水道事業のプロモーション活動	6件
	施策12 収入確保と支出削減	6件
	財政収支計画	21件
財政収支の長期推計	2件	
参考資料	1件	
その他（分類できないもの）	17件	

3 いただいたご意見への対応状況

対応区分		件数
反映	ご意見の趣旨を踏まえ、計画本編に反映したもの	9件（4%）
賛同・包含	計画本編と同趣旨又は賛同・評価を頂いたもの	75件（34%）
参考	個別事業に対するご意見等で参考とするもの	118件（54%）
その他	本計画との関連が見られないもの、質問等	19件（8%）
計		221件（100%）

- 皆様からいただいたご意見の概要と意見に対する本市の考え方については別紙のとおりです。
- 別紙では、いただいたご意見の概要とその対応区分及び本市の考え方について、ご意見の分類ごとに掲載しています。また、ご意見は内容により分割して掲載しています。

いただいたご意見の概要と意見に対する本市の考え方

■計画全般

意見の概要	対応区分	本市の考え方
ハード面のみならずソフト面もお願いしたい。例えば、下水の流行病拡大状況のチェックなど。	賛同・包含	本市では、下水中の新型コロナウイルス調査への協力や、下水中のマイクロプラスチック調査の実施などの取組も行っています。今後も施設整備といったハード面のみならず、日々の運転管理や水質管理などのソフト面も着実に進めてまいります。
様々な課題がある中で、横浜市の下水道事業が持続可能であり、かつ発展することを希望する。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、計画を着実に推進してまいります。
市庁舎での下水道イベントに参加した。これまで下水道を意識することはなかったが、大切さを実感した。引き続き、地道な取り組みを進めてほしい。	賛同・包含	イベントにご参加いただき、また下水道に興味を持っていただき誠にありがとうございます。いただいたご意見は、計画へのご期待と捉え、今後も着実に計画を推進してまいります。
下水道でこんないろいろな政策をやっているとは知らなかった。基本的な機能はしっかり確保した上で、政策に取り組んで欲しい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、計画を着実に推進してまいります。
施策目標2、3、5をしっかり取り組んでほしい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、計画を着実に推進してまいります。
水の処理はとても大切なことだと思うので、いつも私たちのために考えて働いてくださり感謝している。資料からたくさんの工夫や思いが感じられたので、私も自分にできることをしていきたい。	賛同・包含	下水道事業へご理解いただきありがとうございます。今後も市民の皆様にご協力いただきながら、計画を着実に推進してまいります。
主な取組みの指標ではスタート時の整備状況と4年後の目標達成状況を数値で対比されて、中期経営計画の全容が理解できた。	賛同・包含	計画へご理解いただきありがとうございます。本計画では、理解が深まるよう、分かりやすい記載に努めました。今後も着実に計画を推進してまいります。
下水道事業を安定継続させることは重要。取組む課題は山積している。今後4年間の下水道事業中期計画の期間中においても外的要因による予期せぬリスクも発生するかもしれない。横浜市がトップランナーとして、いかに多様なリスクを乗り越えていくか重要な立場にあると思う。今後のご活躍を側面から支援していく。	賛同・包含	計画へご理解いただきありがとうございます。今後も市民や企業の皆様にご協力いただきながら、ご期待に沿えるよう、今後も着実に計画を推進してまいります。
これまでの中期計画と比べ、コラム等を使いかなり分かりやすくなっている印象である。	賛同・包含	計画へご理解いただきありがとうございます。本計画では、理解が深まるよう、分かりやすい記載に努めました。今後も着実に計画を推進してまいります。
下水道機能の向上にはコストがかかる。事業運営と財政運営とのバランスをとりながら、持続可能な下水道を実現して欲しい。	賛同・包含	いただいたご意見は、計画へのご期待と捉え、着実に計画を推進してまいります。
全体に字は大きく、イラストや写真が多く、情報量が多くて、前計画よりも大きく改善したと思う。	賛同・包含	計画へご理解いただきありがとうございます。本計画では、理解が深まるよう、分かりやすい記載に努めました。今後も着実に計画を推進してまいります。
企業の経営と同じ、経営理念の方針、目標と展開されていてとてもいい。また、前中計で3番目だった浸水、地震対策がトップに来てとてもいい。	賛同・包含	計画へご理解いただきありがとうございます。今後も着実に計画を推進してまいります。

意見の概要	対応区分	本市の考え方
全般に図や写真が多用されとても解り易い。QRコードが追加してあるのがとてもいい。計画の根拠となる法令や指針、答申等が記述してあり「何でそうなるの」が解消される。行政のやる事、市民のやる事は多く説明がされている。	賛同・包含	計画へご理解いただきありがとうございます。本計画では、理解が深まるよう、分かりやすい記載に努めました。今後も着実に計画を推進してまいります。
7つの施策目標それぞれに方向性と取組が明確に定められていて良い。特に施策目標1の「浸水ハザードマップの全戸配布」や施策目標4の「N ₂ O低排出型污泥焼却炉の導入」が魅力的。DXやSNS、国際協力や大学との連携などをさらに強化すればより実現に近づくとと思う。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、着実に計画を推進してまいります。いただいたご意見は、施策を進める上での参考とさせていただきます。
工事期間の短縮	参考	下水道工事には様々な工法があり、それぞれの現場に応じた最適な工法を選定しています。騒音や振動が少なく短期間で施工可能な工法を積極的に採用するなど、周辺環境への配慮に努めてまいります。
工事期間を短くしてほしい。	参考	下水道工事には様々な工法があり、それぞれの現場に応じた最適な工法を選定しています。騒音や振動が少なく短期間で施工可能な工法を積極的に採用するなど、周辺環境への配慮に努めてまいります。
工事を早く終えてほしい。	参考	下水道工事には様々な工法があり、それぞれの現場に応じた最適な工法を選定しています。騒音や振動が少なく短期間で施工可能な工法を積極的に採用するなど、周辺環境への配慮に努めてまいります。
2014年に累積欠損金を解消し、今後の維持管理・更新等の事業のために積み立てが可能となるなど、着実な成果となっていることは素晴らしいが、他の都市と比較して各施策の進捗はどのくらいなのか。国の目標に対して進んでいるのか遅れているのか。更に、どの部分は進んでいて遅れているのかが分かると好ましい。	参考	国の目標に対する進捗や他都市の状況を確認しながら事業を進めていくことは、非常に重要と考えており、これまでもその視点を持って取り組んでおります。いただいたご意見は、今後の計画策定の参考とさせていただきます。
横浜市下水道事業による雨水・浸水対策、汚水・水洗化に対する取り組みは評価・感謝している。今後、施設の老朽化が進み、人口減少や財政悪化等を考えると、単純に再整備を行うだけでは下水道経営が成り立たなくなる。施設の集約化や複合化などは当然であるが、整備水準を維持する中で市民の暮らしを支えていくための施策も検討するべきと考える。	参考	下水道事業にご理解いただきありがとうございます。本計画期間における状況を注視しつつ、4年毎に見直しを行い、必要な取組を行ってまいります。
下水道についてあまり知らなかったのので、これから勉強していきたい。	その他	下水道に関心をもっていただき、ありがとうございます。本市におきましても、下水道事業への理解促進とイメージアップを図るため、施策11「下水道事業のプロモーション活動」の取組を推進してまいります。

■計画の基本的事項

意見の概要	対応区分	本市の考え方
P9 溝渠「こうきょ」の用語が難しい。	反映	ご意見を踏まえ「小規模の溝状の水路及び管きょ」を追記いたしました。
P11 地図にスケールを追加してほしい。	反映	ご意見をふまえ、P11の地図にスケールを追加いたしました。
4つの基本方針は、いいことが書いてある。形だけにならないように、ぜひその姿勢で取り組んでほしい。	賛同・包含	いただいたご意見は計画へのご期待と捉え、事業に取り組む上での参考とさせていただきます。今後も基本方針に沿って着実に計画を推進してまいります。
横浜下水道150年の歴史を経て、今後の下水道の経営方針、4つの基本姿勢に基づく2025年までの4年間の7つの施策目標が理解できた。	賛同・包含	計画へご理解いただきありがとうございます。今後も着実に計画を推進してまいります。
1～7の各施策とSDGsとの関連の一覧表も理解しやすくまとめられていた。	賛同・包含	計画へご理解いただきありがとうございます。本計画では、理解が深まるよう、分かりやすい記載に努めました。今後も着実に計画を推進してまいります。
2 計画の枠組み 本文最終行について、「職員一丸となって取り組みます。」は、意気込みを述べており、かならずしも枠組みの説明となっていない。タイトルを「本計画の推進について」と変更し、あわせて本文についても、「事業実施にあたっては職員ひとり一人が4つの基本姿勢を持って強力に取り組みます。」など、事業者としてのコミットメントとしてはどうか。	参考	計画の枠組みに記載の文章は、経営理念、経営方針、施策目標と施策、および基本姿勢の関連性を示したものです。この枠組みの中で、基本姿勢については「職員が一丸となって取り組む」べきものとして位置付けているため、このような記述としております。
SDGsの17項目が施策目標の中にすべて取り込まれていないが、いいのか。	参考	本市の下水道事業とSDGsの関連を分かりやすくお伝えるため、本計画では関連の深いゴールに絞ってお示しました。
PDCAサイクルだけの考えだと計画を実行するために時間を要する。OODA (Observe (観察)、Orient (現状判断)、Decide (決定)、Act (行動)) DLTG (Do、Look、Think、Grow)、DCAPなど、適切に選択して計画を実行できるように目標の明確化をしてほしい。	参考	いただいたご意見は、今後の計画策定の参考とさせていただきます。
P10 トイレの水洗化だけでなく、個人浄化槽から広域下水道化も追加してほしい。	参考	10ページの図は、横浜市下水道事業でこれまで取り組んできた役割をお示したものです。
P11 分流(合流)地区の人口を教えてください。	参考	分流・合流ごとの人口の集計は行っておりません。
P11 深谷スポーツ公園(泉区)はいつ事業計画地域になるのか。	参考	旧深谷通信所跡地内の下水道事業計画区域への編入については、深谷通信所跡地利用基本計画に基づく都市計画決定後に行う予定です。

■浸水対策

意見の概要	対応区分	本市の考え方
流域治水関連法の正式名称は何か。	反映	特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律です。頂いたご意見を踏まえ、法律名を正式名称に修正いたしました。
P19 エキサイト横浜～幹線の完成時期、総事業量を教えてほしい。地図にスケールを追加してほしい。	反映	横浜市公共事業評価を実施しており、令和12年度の供用開始予定、総事業費は約410億円としております。地図スケールにつきましては、事業規模が分かりやすいよう、幹線の整備延長を図中に記載いたしました。
P26 グレーチング化をもう少し説明してほしい。	反映	ご意見を踏まえ、「コンクリート蓋を網目状の金属製グレーチング蓋に変更する」旨の内容を追記いたしました。
P28 「揚程」の用語が難しい。	反映	ご意見を踏まえ注釈にて「ポンプが水をくみ上げることができる高さ」を追記いたしました。
下水道は私たちの生活になくてはならないものなので、しっかり整備してほしい。特に雨の対策は、これからしっかりと行ってほしい。	賛同・包含	計画へご理解いただきありがとうございます。ご期待に沿えるよう、今後も着実に計画を推進してまいります。
ゲリラ豪雨対策は急務です。	賛同・包含	今後も施策1「浸水対策」を着実に推進してまいります。
横浜駅の浸水対策（大惨事が起きる前に）は重点施策として進めて欲しい。	賛同・包含	横浜駅の浸水対策については、引き続き、施策1「浸水対策」の取組2「横浜駅周辺地区における目標整備水準を引き上げた施設整備」として推進してまいります。
近年多発するゲリラ豪雨対策をしっかり進めて欲しい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策1「浸水対策」の取組を着実に推進してまいります。
浸水対策をして頂けて助かっている。	賛同・包含	今後も施策1「浸水対策」の取組を着実に推進してまいります。
浸水しないでほしい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策1「浸水対策」の取組を着実に推進してまいります。
浸水しないでほしい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策1「浸水対策」の取組を着実に推進してまいります。
大雨の時に浸水しないような工夫を願う。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策1「浸水対策」の取組を着実に推進してまいります。
浸水対策をしてほしい	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策1「浸水対策」の取組を着実に推進してまいります。
大雨の際にあふれない対策をお願いする。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策1「浸水対策」の取組を着実に推進してまいります。
飯島地区を始めとした「取組1：浸水防除のための施設整備」の早期の効果発現を切に希望する。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策1「浸水対策」の取組を着実に推進してまいります。
「取組2：横浜駅周辺地区における目標整備水準を引き上げた施設整備」の着実な推進に期待している。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策1「浸水対策」の取組を着実に推進してまいります。
気候変動に対応した浸水対策の検討について期待する。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策1「浸水対策」の取組を着実に推進してまいります。
平成16年横浜駅西口での浸水のような浸水被害を防いで欲しい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策1「浸水対策」の取組を着実に推進してまいります。
P22 「2022年の降雨量1.1倍」とあり、本中計の重要性を説明していて、解り易く記述していてとてもいい。	賛同・包含	計画へご理解いただきありがとうございます。本計画では、理解が深まるよう、分かりやすい記載に努めました。

意見の概要	対応区分	本市の考え方
P24 目標水準 50mm の説明があり、なぜ目標水準が設定されたか今回理解できて良かった。	賛同・包含	計画へご理解いただきありがとうございます。本計画では、理解が深まるよう、分かりやすい記載に努めました。
水再生センターやポンプ場の耐水化率が低いのが懸念される。	参考	令和元年の豪雨災害により、国が発出した通知に基づき今後 10 年間で耐水化事業を計画的に推進して行きます。本計画では、設計検討から開始し、51 施設中の 9 施設について対策を完了する予定です。
素案本編 P22 のコラムを「気候変動に対応した降雨強度の見直しの実施」と修正し、コラムではなく取組としてはどうか。せっかく、コラムに意欲的な内容を記載しているので、取組に格上げすべき。	参考	気候変動を踏まえた対応についての取組を分かりやすく説明するため、コラムとして掲載いたしました。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。引き続き浸水対策の取組を着実に進めてまいります。
今まで氾濫した事のない河川でも氾濫している例があり、これだけ水害が発生している現状を考えると、雨水幹線の整備や災害時のトイレ機能の充実が重要となるし、河川の対策も重要である。	参考	いただいたご意見は、施策 1「浸水対策」および施策 2「地震対策」を進める上での参考とさせていただきます。計画を着実に推進してまいります。
100 ミリの雨が降った時でも床上浸水しないよう新たな目標を設定し、効率的に施設整備をしてもらいたい。河川の県からの権限委譲も含め、もっと河川事業と連携して進めてほしい。	参考	いただいたご意見は、施策 1「浸水対策」を進める上での参考とさせていただきます。関係部署とも連携しながら、計画を着実に推進してまいります。
グリーンインフラといった施設整備には反対である。整備費も維持管理費もかかる。自然の保全にお金をかけた方がよい。	参考	いただいたご意見は、施策 1「浸水対策」および施策 3「良好な水環境の創出」を進める上での参考とさせていただきます。
今後、人口が減って行く中で下水道も含めてインフラ整備をどこまでやるのか考えてほしい。コンパクトシティや、昔に比べると浸水被害は少なくなっているので整備だけでなく、被害にあった場合の補償も考えてほしい。	参考	いただいたご意見は、下水道整備や浸水対策を進める上での参考とさせていただきます。
気候変動による浸水対策は重要だと思う。河川事業との連携をもっとしっかりして、安心できるまちづくりをお願いしたい。	参考	いただいたご意見は、施策 1「浸水対策」を進める上での参考とさせていただきます。関係する事業とも連携しながら、計画を着実に推進してまいります。
P22 浸水対策のコラム 気候変動を踏まえた新たな浸水対策の考え方について、これまでの目標整備水準を単に 1.1 倍するのでよいのか。50mm、60mm、74mm は横浜市のデータをもとにある期間での統計的な数値を求めたものであり、「現在」とは違うように思う。これから目標水準の設定、整備の考え方について検討を進めて行くということかと思うが、P23 のコラムの中の図では 1.1 倍の目標整備水準が決定したように示されている。もし、「～近年の気候変動の影響を踏まえ、新たな浸水対策の考え方に舵を切ります～」という考え方が決定されているのであれば、P16 の施策の方向性の中にこのことを記載した方がよい。	参考	気候変動を踏まえた対応についての取組を分かりやすく説明するため、コラムとして掲載いたしました。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。引き続き浸水対策の取組を着実に進めてまいります。
排出口の落葉の詰まりの定期的な掃除	参考	現地の状況を踏まえ、各区の土木事務所と連携して取り組んでまいります。
道路に水があふれないようにして欲しい	参考	現地の状況を踏まえ、各区の土木事務所と連携して取り組んでまいります。
【施策 1】浸水対策においては、報道にしばしば登場する線状降水帯の文言を入れ、横浜でもいつ起こってもおかしくないと注意喚起してほしいか。	参考	いただいたご意見は、施策 1「浸水対策」を進める上での参考とさせていただきます。市民の皆様への注意喚起も含め、計画を着実に推進してまいります。

意見の概要	対応区分	本市の考え方
浸水対策で目標整備水準 1.1 倍に対応するためどのような整備が必要となるのかわかると良い。	参考	1.1 倍の目標整備水準に対応する施設整備としては、雨水幹線や雨水調整池等の整備、雨水の取込み施設の増設など既存ストックを生かした早期に効果を発揮させるための取組などが考えられます。本計画期間では 1.1 倍に対応する施設整備に向けた国や関係機関との協議を進めていきますので、いただいたご意見は、施策 1「浸水対策」を進める上での参考とさせていただきます。
大雨の日等、道路脇の排水が上手くいくように整備してほしい。	参考	引き続き、施策 1「浸水対策」の取組を着実に推進してまいります。
家の前が水があふれやすく、排水できる場所を増やしてほしい。	参考	引き続き、施策 1「浸水対策」の取組を着実に推進してまいります。
大雨時マンホールから水があふれないようにしてほしい。	参考	引き続き、施策 1「浸水対策」の取組を着実に推進してまいります。
温暖化による浸水被害が大きい影響を与えているため、雨水対策は、河川と連携した街づくりの方向性を示すべきではないか。横浜の良好な水環境を創出する取り組みを期待したい。	参考	いただいたご意見は、施策 1「浸水対策」及び施策 3「良好な水環境の創出」を進める上での参考とさせていただきます、関係する事業とも連携しながら、計画を着実に推進してまいります。
浸水対策を充実して、港南区日野川流域の内水被害を軽減してほしい。	参考	引き続き関係部署と連携しながら、内水被害の軽減に向けて取り組んでまいります。
浸水対策のコラムについて、5年に1回、10年に1回の降雨で浸水を防止し、約100年に1回の降雨で床上浸水を防止すると理解した。この目標設定は適切。100年に1回の降雨に対する施設整備はやらなくていい。計画の中に老朽化対策が盛り込まれているように下水道は100年も使い続けることができない。	参考	浸水対策の目標設定についてご理解いただきありがとうございます。施設整備に関していただいたご意見は、施策 1「浸水対策」を進める上での参考とさせていただきます。
高潮時のゲリラ豪雨による雨水流末対策を進めてほしい。	参考	いただいたご意見は、施策 1「浸水対策」を進める上での参考とさせていただきます。
雨水幹線の整備率を上げる必要性を感じる。雨水本管の整備率も上げる必要がある。	参考	いただいたご意見は、施策 1「浸水対策」を進める上での参考とさせていただきます。
雨水浸透枳設置の助成だけでなく、雨水浸透枳設置宅地に対して、土地の固定資産税の一定期間一部減免など何らかのインセンティブを与えることで普及させてはどうか。	参考	いただいたご意見を参考に、今後も雨水浸透枩の普及啓発に努めます。
他部署（※）が行っている横浜駅西口の浸水対策が不透明である。 （※「署」の字は不鮮明）	参考	本編 P20 に記載のとおり、横浜駅周辺のまちづくり計画である「エキサイトよこはま 22」では、帷子川や下水道の整備、民間事業者による雨水貯留等が位置付けられており、将来的に時間降雨量 82mm の浸水に対する安全度を向上させる計画となっています。
P16 雨水幹線整備率は、いまだ 6 割とあるが、率が 9 割、10 割になるまで、何年かかるのか。	参考	施設整備を進めるためには膨大な費用や時間を要します。そのため、雨水幹線の整備状況だけではなく、浸水が想定される範囲や深さ、地下施設の有無や都市機能の集積状況などの地域特性、資産の分布状況などから整備の優先度を設定し、効率的に施設整備を進める予測対応型の浸水対策を進め、施策 1「浸水対策」の取組を着実に推進してまいります。
P20 台風の被害額を記述してほしい。	参考	本計画は下水道事業に関する経営計画であるため、被害額等の詳細な数字について、記述の予定はございません。
P21 戸塚区俣野町は整備済だがいつ完成したか。	参考	俣野地区は平成 20 年度に俣野雨水幹線が供用開始したことにより、整備済みとしております。

意見の概要	対応区分	本市の考え方
P21 全体に瀬谷区と泉区が残るが理由を教えてください。	参考	整備開始が比較的新しい地区では、汚水と雨水を別々の管きょ（污水管、雨水管）で流す分流式と呼ばれる方式を採用しています。分流式の下水道の地区においては、水路などの既存の雨水排水施設がある場合、雨水管よりも污水管の整備を優先して進めてきました。そのため、分流式の下水道を採用している地区で浸水対策の予定箇所が多くなっています。
P21 戸塚地区が広く長いのはなぜか。	参考	雨水幹線等を整備する予定の地区全体（戸塚駅周辺から栄区笠間町周辺まで）を示しているためです。
P23 グラフの横軸が時間だが、将来とはおよそ何年後なのか。10年、20年の長期計画を示してほしい。	参考	様々な取組を組み合わせた浸水被害の軽減について模式化したものになりますので、具体的な期間の設定は行っていません。いただいたご意見は、施策1「浸水対策」を進める上での参考とさせていただきます。
下水幹線工事等、費用が高価な事項の説明が不足している。21ページ浸水対策の予定は、次期計画で行うとあるだけで、説明が不足である。多様な条件のある場合は、何を重視するかを書いてほしい。	参考	過去に浸水被害を受けた地区を優先して施設整備を推進しております。また、シミュレーションによる浸水想定の結果などで施設整備の優先度を設定する予測対応型の浸水対策も進めてまいります。いただいたご意見は、施策1「浸水対策」を進める上での参考とさせていただきます。
雨水整備水準の降雨強度を1.1倍に変更すると、既存の整備率も連動して低下することはないか。また、今後の整備費に影響が出るのではないか。	その他	雨水幹線整備率は、下水道事業計画区域に対する雨水幹線整備済み区域の割合であり、低下することはありません。目標整備水準を1.1倍に増加させることで施設規模が大きくなる場合については、整備費が増加します

■地震対策

意見の概要	対応区分	本市の考え方
これだけやることがあるにもかかわらず、上下水道とも値上げすることなくやっているようで、がんばってほしい。地震、台風に強いインフラを作ることが生活の安心を作る。昨今の災害を見て、強固で復旧の速いインフラとなっているかが大事であり、根幹である。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策1「浸水対策」および施策2「地震対策」において計画を着実に推進してまいります。引き続き健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
災害時のトイレは大切。ハマッコトイレがどのようなものか具体的にはわからないが、的確に使えるものであれば普及を素早くしてほしい。	賛同・包含	災害時のトイレ機能を確保するため、すべての地域防災拠点にハマッコトイレの整備を進め、令和5年度末の完了を目指しています。なお、ハマッコトイレの概要・使用方法については横浜市ホームページに掲載してあるほか、地域防災拠点での訓練や、拠点に配布されているDVDおよびQRコードにて動画で確認できるようになっています。
下水道は必要なインフラだが、色々な課題があることがわかった。大震災の際にトイレが使用できず苦労したため、特に地震対策や浸水対策などの対策はしっかりやって欲しい。	賛同・包含	今後も施策1「浸水対策」及び施策2「地震対策」の取組を着実に推進してまいります。
地震などの災害時にも安全に使えるようにしてほしい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策2「地震対策」を着実に推進してまいります。
災害時に使えるよう頑張してほしい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策2「地震対策」を着実に推進してまいります。
災害時使用できるように。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策2「地震対策」を着実に推進してまいります。
安定して使えるようにしてほしい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策2「地震対策」を着実に推進してまいります。
地震対策をしっかりとしてほしい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策2「地震対策」を着実に推進してまいります。
災害時に使える工夫。	賛同・包含	施策2「地震対策」を着実に推進してまいります。
災害時にも平時と同じように使えるよう整備してほしい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策2「地震対策」を着実に推進してまいります。
災害時でも使えるようにメンテナンスしてほしい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策2「地震対策」を着実に推進するとともに、平常時においても、適切な維持管理を進めてまいります。
災害時にも使用できると助かる。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策2「地震対策」を着実に推進してまいります。
災害時に使えるようにしてほしい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策2「地震対策」を着実に推進してまいります。
施策目標1「災害に強いまちづくり」は確実に進めてほしい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策目標1「災害に強いまちづくり」の取組を着実に推進してまいります。
日々私達の暮らしの為にありがとうございます。是非、災害に強い下水道づくりをお願いしたい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策目標1「災害に強いまちづくり」の取組を着実に推進してまいります。
地震で下水道が使えなくなったり、川から水が下水道を逆流して浸水することがないように災害対策を万全にして欲しい。	参考	いただいたご意見は、施策1「浸水対策」および施策2「地震対策」を進める上での参考とさせていただきます。計画を着実に推進してまいります。
バイエリアの震災時、液状化現象を発生させないよう予防対策をお願いしたい。	参考	下水道管の耐震化につきましては、本編 P38 に記載のとおり、優先順位をつけて事業を進めております。頂いたご意見を参考にさせていただきます。施策2「地震対策」を着実に推進してまいります。

意見の概要	対応区分	本市の考え方
災害時にも水は使えると嬉しい。	参考	水道管につきましては、環境創造局の管轄外になりますが、いただいたご意見は関係部局にお伝えしたいと考えております。なお、下水道管の耐震化につきましては、本編 P38 に記載のとおり、対象の下水道管において耐震化を着実に進めてまいります。
「施策目標 1. 災害に強いまちづくり」について、膨大なストックを抱えながら、浸水対策、地震対策を行うには、巨額の費用と期間を要するために事業の進捗が難しいと理解するが、災害発生時の応急対応のため情報管理ツールへの投資が乏しい。発災時に協定を締結している地元企業が効果的に被災状況を調査し、報告できる情報ツールを導入し、地元企業や市民に提供してほしい。横浜の被災は、人口減少下に他都市への人口流出にも繋がり、市の経済に大きなダメージとなる。つきましては、地震、洪水などへの対策の増加をお願いしたい。	参考	災害時の情報収集は、早期の災害対応をとる上で、大変重要と考えています。いただいたご意見は、「施策目標 1. 災害に強いまちづくり」を進める上での参考とさせていただきます。
【施策2】ハマッコトイレの市民の周知度が低いと思う。もう少し強調してはどうか。	参考	ハマッコトイレの概要・使用方法については訓練や、横浜市ホームページに掲載してあるほか、地域防災拠点での拠点到配布されている DVD および拠点到設置している説明看板 QR コードにて動画で確認できるようになっています。
台風、地震等、災害に活用してほしい。	参考	施策1「浸水対策」及び施策2「地震対策」の取組を着実に推進してまいります。
中区役所前の公道に設置したハマッコトイレ（道路たわみ）がなぜ公道にあるのか。	参考	トイレ設置場所が平坦地であること、緊急車両等の支障とならないこと、地下埋設物に支障とならないこと等を条件に選定しています。
取組 11～17 では本計画中ではとても完成しない事項が多いので、もう少し早くできないか。	参考	取組ごとに優先度を検討し、着実に進めてまいります。いただいたご意見は、施策2「地震対策」を進める上での参考とさせていただきます。
P114 災害用井戸は、災害対策上重要なので、調査はしても、料金を取る様な事はしないでほしい。	参考	災害用井戸については、使用実態や設備等を把握させていただいたうえで下水道使用料の徴収対象かどうかを確認させていただきます。

■良好な水環境の創出

意見の概要	対応区分	本市の考え方
水質改善のため合流式下水道改善だけでなく将来的に分流式下水道に変更して欲しい。	参考	いただいたご意見は、施策3「良好な水環境の創出」を進める上での参考とさせていただきます、公共用水域の水質改善に向けた取組を進めてまいります。
P53 身近な水辺づくり 雨水や湧水、下水を高度処理した再生水を活用した「せせらぎ」について、災害時の雑用水としての利用が可能であることを記載したらどうか。	参考	雨水や湧水、下水を高度処理した再生水を活用した「せせらぎ」につきましては、災害時の雑用水としての利用を想定しておりません。
合流改善については法令の期限までにしっかり取組を進めてほしい。さらに、今後、河川事業やまちづくり事業と連携して親しみやすい水辺空間づくりをしていくために、下水道事業として更なる合流改善の取組を進めてほしい。	参考	いただいたご意見は、施策3「良好な水環境の創出」を進める上での参考とさせていただきます、合流式下水道改善の取組を進めてまいります。
P45 A20 法が難しい。O が酸素が必要な槽で、A の2つは AntiO (非酸素) の意味か。	参考	A20 法(嫌気-無酸素-好気法)とは Anaerobic-Anoxic-Oxic process の略記です。市ホームページに A20 法の説明を掲載しておりますので、ご参照ください。 <下水の高度処理 高度処理方式 A20 法> https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasen-gesuido/gesuido/shori/kodoshori/shoriho/houshiki03.html
P46 西部センターから栄センターへの配管をバイパスさせていると聞いたが、2025年にはこれをやめるのか。	参考	西部水再生センター、栄水再生センターの処理状況や施設の再構築、設備等の更新に伴う一時的な処理能力の低下などを考慮して検討してまいります。
P46 工場への処理基準の引き上げは可能か。	参考	下水道機能の保全及び公共用水域の水質保全を図るため、法令に基づき水質基準(処理基準)は適切に設定しています。
P47 冒頭に「流入下水中のマイクロプラスチックは処理して除かれる」旨の文を一文入れ、図で説明してはどうか。	参考	いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
P49 油性スカムの原因は飲食店の雑排水ではないか。発生源対策をしてほしい。	参考	油脂類を多量に排出する店舗等にはグリーストラップ(阻集器)の設置が義務づけられています。店舗等の皆様へは適正な維持管理をお願いしています。
P50 根本的には合流式を分流式に変更してほしい。下水を大量に使う施設には、汚水の一時貯留設備を備えてはどうか。	参考	いただいたご意見は、施策3「良好な水環境の創出」を進める上での参考とさせていただきます、公共用水域の水質改善に向けた取組を進めてまいります。
P53、58 プロムナード、せせらぎ緑道を都心部に新設、延伸してほしい。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。

■循環型社会への貢献

意見の概要	対応区分	本市の考え方
下水汚泥を 100%有効利用し、燃料化物や電気を作っているとは知らなかった。循環型社会の形成に向けて引き続き取り組んでほしい。	賛同・包含	いただいたご意見は計画へのご期待と捉え、施策 4「循環型社会への貢献」の取組を引き続き推進してまいります。
下水由来の資源の利活用（チッ素、リンの肥料活用）処理場の上部利用などでの農業への活用（横浜ブランド野菜と下水道のコラボなど）	参考	いただいたご意見は、施策 4「循環型社会への貢献」を進める上での参考とさせていただき、計画を着実に推進してまいります。
施策目標 2 の施策 4 「循環型社会への貢献」、取組 31 「下水道資源を活用したスマート農業実証事業」の進展に期待する。下水中の窒素やリンを使った観賞・景観植物向け肥料の開発、実用化をされてはどうか。緑や花による持続可能な空間づくりに役立つ地産地消の取組を期待する。「ガーデンシティ横浜」実現の一翼を担うものと思う。	参考	いただいたご意見は、施策 4「循環型社会への貢献」を進める上での参考とさせていただき、事業の計画を着実に推進してまいります。
【施策 4】新規のスマート農業、建設資材の有効活用 の内容が分かりづらい。	参考	スマート農業実証事業につきましては、本編 P58 に記載のとおり、下水処理過程で発生した CO ₂ 、熱、下水処理水等を活用し、葉物野菜等を対象とした水耕栽培を行う取組です。結果については、実験施設の見学会等を通じて広くお伝えする予定です。また、建設資材につきましては、本編 P56 に記載のとおり、下水汚泥を焼却した焼却灰を改良土（埋め戻し材とした土）やセメント等の建設資材の原料として活用しています。

■維持管理

意見の概要	対応区分	本市の考え方
維持管理は継続して努めて欲しい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策5「維持管理」の取組を着実に推進してまいります。
P63の「下水道管内の堆積物（汚砂）は、金沢区鳥浜の処理施設で処理したのち、汚泥資源化センターで焼却しています。」との記載について、鳥浜の処理施設が、下水道事業に位置付けられていることを示す重要な記述である。これにより、産廃法の適用ではないことを説明ができる根拠になるものなので次期計画以降も記載してほしい。	賛同・包含	いただきましたご意見は、次の計画策定の参考とさせていただきます。
排水処理よろしく願います。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、これからも維持管理を計画的かつ効率的に行い、常に安定した下水処理機能を維持するよう着実に推進してまいります。
下水の掃除を徹底してほしい。つまると流れなくなるので。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策5「維持管理」の取組を着実に推進してまいります。
永く安心して上下水道を使えるよう施設の維持を進めてほしい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、これからも維持管理を計画的かつ効率的に行い、常に安定した下水処理機能を維持するよう着実に推進してまいります。
排水性能は常に維持してほしい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策5「維持管理」の取組を着実に推進してまいります。
【施策5】点検業務は以前人力であったが、近年調査用カメラにより効率化を図っている、ことも挿入したらどうか。	賛同・包含	本編 P63 に記載のとおり、下水道管の調査においてTVカメラ調査を活用し、効率的に調査を実施しています。
下水の網にゴミを捨てる人を見かけるが、大丈夫なのか。ダメなら広く啓発してほしい。	参考	道路上雨水樹へのゴミ捨ては、下水が詰まる要因となるため、引き続き、施策11「下水道事業のプロモーション活動」の取組を通じて周知してまいります。
何年か前から、菊名駅近くの下水（網部分）から出る悪臭がひどい。	参考	所管の土木事務所において臭気が発生している下水道施設の場所の特定を進め、特定できた際には臭気対策を実施してまいります。
磯子区、金沢区、中華街周辺の街中で下水の臭いが気になる。素早い改善をお願いいたします。	参考	ご指摘いただいた地区について、所管の土木事務所において臭気が発生している下水道施設の場所の特定ができていませんが、今後特定できた際には臭気対策を実施します。
瀬谷駅周辺の下水の臭い	参考	所管の土木事務所において臭気が発生している下水道施設の場所の特定を進め、特定できた際には臭気対策を実施してまいります。
ニオイが気になる。下水道を直してほしい。	参考	現地の状況を踏まえ、各区の土木事務所と連携して取り組んでまいります。
戸塚区俣野町で生じている汚水の溢水を対策してほしい。	参考	所管の土木事務所と連携して溢水原因の特定を進め、特定できた際には溢水対策を実施してまいります。
P68 戸塚区の西部センターは隣接する藤沢市と協働、川崎市とは鶴見と協働してコストを下げられないか。	参考	いただいたご意見は、事業を進める上での参考とさせていただきます。
P75 中部水再生センターと市役所間のように、神奈川県庁や県民ホール、山下ふ頭地区も再開発するならば、同様に再生水利用をしてほしい。	参考	ご期待に沿えるよう、施策4「循環型社会への貢献」の取組を着実に推進してまいります。

■老朽化対策

意見の概要	対応区分	本市の考え方
表面的（表の道路）な箇所だけでなく目立たない道路下の“下水管の取り替え”等を願う。	賛同・包含	本編 P70 に記載のとおり、下水道管及び取付管については、老朽化等の状態に応じた再整備を進めています。引き続き着実に計画を推進してまいります。
老朽管は早急に再整備して欲しい。	賛同・包含	ご期待に沿えるよう、施策6「老朽化対策」の取組を着実に推進してまいります。
老朽化対策も喫緊の課題としますので、優先順位を付けて対策を推進するよう期待する。	賛同・包含	今後も着実に計画的な再整備、再構築を進めてまいります。
「老朽化」という表現が、進行するインフラの老朽化への対応に「後手」を踏んでいるイメージを与える表現と感ずるため、施策6のタイトル「老朽化対策」を「計画的な施設の再整備」と修正してはどうか。すでに計画的な再整備、再構築に着手しているのだから、まずは急いで造る時代が終わり、しっかりと今後を見据えた効率的かつ合理的な再整備に取り組む、というメッセージを表現するタイトルであるべきと考える。施策の方向性の説明文にも、今後の100年間を見据え、などの表現を加え、今後のメイン事業の一つであることを前面に打ち出してはどうか。	参考	現在、既に5つの水再生センターが建設から50年を経過しており、下水道管についても布設から50年を経過する施設が今後急激に増加することから、老朽化は避けられない課題と捉え、「老朽化対策」を重点的に推進する施策として位置付けました。いただいた意見は、施策6「老朽化対策」を進める上で参考とさせていただき、今後も着実に計画的な再整備、再構築を進めてまいります。
【施策6】耐用年数を超えた、迎える管路や設備の存在を記述してはどうか。	参考	本編におきましては、P68に標準耐用年数を超える管路延長について、P69に建設から50年を経過する水再生センターが半数あり、耐用年数を超える施設および設備が増えていることについて、記載しております。今後も引き続き施策6「老朽化対策」の取組を着実に推進してまいります。
膨大な下水道施設を再構築する際は規模を適正にすることはもちろん、下水道システムを最適化する視点をもってしっかり進めてほしい。	参考	いただいた意見は、施策6「老朽化対策」を進める上で参考とさせていただき、今後も着実に計画的な再整備、再構築を進めてまいります。

■温室効果ガスの削減

意見の概要	対応区分	本市の考え方
<p>脱温暖化は大きな課題として積極的に取り組んでほしい。新たな技術導入や官民連携の強化など期待する。今度、策定予定の「下水道脱炭素プラン」に2030 50%削減、2050 カーボンニュートラルに向けたできるだけ具体的な方策を示してほしい。</p>	<p>賛同・包含</p>	<p>本編 P4 に記載の、経営方針4に掲げていますとおり、下水道事業のあらゆる場面において、地球温暖化対策の視点を考慮した取組を実践し、脱炭素社会の実現に挑戦してまいります。いただいたご意見は、施策7「温室効果ガスの削減」を進める上で今後の参考にさせていただき、今後も着実に計画を推進してまいります。</p>
<p>温暖化対策もしっかりと行ってほしい。</p>	<p>賛同・包含</p>	<p>温暖化対策は、重点的に推進する取組に掲げています。今後も施策7「温室効果ガスの削減」の取組を着実に推進してまいります。</p>
<p>エネルギーを多く使うので脱炭素への取組みをもっと進めて欲しい。</p>	<p>賛同・包含</p>	<p>いただいたご意見は計画へのご期待と捉え、施策7「温室効果ガスの削減」の取組をより一層推進してまいります。</p>
<p>地球温暖化を少しでも防止し、温室効果ガス削減に取り組むことで環境も守り、暮らしも守れると思いました。</p>	<p>賛同・包含</p>	<p>いただいたご意見は計画へのご期待と捉え、施策7「温室効果ガスの削減」の取組をより一層推進してまいります。</p>
<p>施策7の温室効果ガスの削減で表示する図表について、2013、2022、2025、2030、2050年の排出量が右肩下がりグラフを掲載し、焼却炉の更新イメージ図を各論に記載してはどうか。</p>	<p>参考</p>	<p>市民意見募集用パンフレットでの表記についてのご意見と存じます。本編におきましては、温室効果ガス削減を示すイメージ図など、各取組を説明するページに、理解を助けるためのイメージ図等を添えております。さらに、詳細については「横浜市下水道脱炭素プラン」として公表する予定です。いただいたご意見は、今後の計画策定の参考とさせていただきます。</p>
<p>P80 取組 41 水再生センター等における温室効果ガス排出量削減の推進について、水再生センター等で30%減は非常に厳しい目標と思う。無理をせず、過大な事業負担にならないようにしてほしい。また、下水道時事業全体では26%減のようだが、その半分を占める水再生センター等が30%減、ということか。</p>	<p>参考</p>	<p>水再生センター等を含む下水道事業全体で、2030年度に2013年度比で50%削減する目標としており、本中期計画の最終年度である2025年度では、2013年度比で30%削減する目標を掲げています。老朽化対策としての設備の再整備に合わせて効率的かつ着実に必要な取組を推進してまいります。</p>
<p>新規の革新的技術は、実績の乏しさや安定稼働への不安で採用され辛い傾向にあるが、カーボンゼロには大胆な取組が不可欠だと考える。積極的な新技術採用を検討してほしい。</p>	<p>参考</p>	<p>いただいたご意見は、施策7「温室効果ガスの削減」を進める上での参考とさせていただき、計画を着実に推進してまいります。</p>

■国際技術協力・水ビジネス展開支援

意見の概要	対応区分	本市の考え方
<p>国際技術協力などの国際事業を支持する。世界的な下水道の普及には、横浜のような豊富な技術とノウハウの提供が必須であり、東京や横浜などの大都市がしっかりリードすべき。</p>	<p>賛同・包含</p>	<p>新興国等における水環境改善への貢献や市内企業等のビジネスチャンス拡大のため、公民連携による技術協力の推進や市内企業等の海外水ビジネス展開の支援に取り組んでいます。 いただいたご意見は、施策8「国際技術協力・海外水ビジネス展開支援」を進める上で今後の参考とさせていただきます、引き続き国際事業の取組を進めてまいります。</p>
<p>海外との技術協力について、処理した下水を輸出できないものか。運搬費用がかさむと思うが、例えば船のバラスト水として輸出するなどが考えられる。世界には水が足りていない国があり、日本国内でも喝水のため、足りない分を海水淡水化で補っている地域もある。海水淡水化のコストは高額であり、環境負荷も心配。</p>	<p>参考</p>	<p>いただいたご意見は、施策8「国際技術協力・海外水ビジネス展開支援」を進める上での参考とさせていただきます。</p>

■事業を担う体制づくり

意見の概要	対応区分	本市の考え方
施策9の施策の方向性で、「横浜の下水道事業を担う人材」を「次代の下水道事業を担う人材」と修正してはどうか。横浜市下水道経営計画であるので、「横浜」の記載は不要ではないか。	反映	本市の計画であるというご意見をふまえ、本編 P92 の施策9「事業を担う体制づくり」の施策の方向性について、「横浜の下水道事業を担う人材」の記載を「下水道事業を担う人材」に修正いたしました。
体制確保が必要とあるが、その通りだと感じた。民間企業も働き手が減っていくので連携して効率的に進めていく必要がある。役所がしっかりリードしてほしい。	賛同・包含	いただいたご意見は計画へのご期待と捉え、施策9「事業を担う体制づくり」を進める上での参考とさせていただきます。今後も着実に計画を推進してまいります。
汚泥処理プラントメーカーです。脱炭素技術への取組みに関して大変関心を持ち、技術開発に努力している。技術は勿論だが、発注形態も従来の形式にこだわらず、対応してほしい。	賛同・包含	汚泥処理設備の更新を行うにあたり、民間事業者の独自技術や創意工夫を活用することで、より経済的で環境負荷の軽減に配慮した事業となるよう、現在は PF1 事業等にて実施しています。今後は、市内関係団体等との対話などを通して、新たな公民連携手法の導入に向けた枠組みの検討を進めてまいります。
人材育成は最大の課題。官民の役割分担が進み、ブラックボックス化しないように、適正な情報交換や人材交流など仕組みが必要と思う。	参考	いただいたご意見は、施策9「事業を担う体制づくり」を進める上での参考とさせていただきます。
「施策9.事業を担う体制づくり」について、下水道事業に協力する市内企業も下水道事業者と同様に「組織の技術力を維持・向上させていく必要」があり、市内企業との「連携のさらなる強化」の重要性は増している。市内企業の事業が協力できる業務範囲の拡大をお願いしたい。	参考	本市といたしましても、持続可能な事業運営に、市内企業をはじめとする多様な主体との連携のさらなる強化は必要不可欠と考えております。いただいたご意見は、施策9「事業を担う体制づくり」を進める上での参考とさせていただきます。
人員に関する具体的な記述がない。将来的な人員削減策または人員確保策の見通しを教えてください。	参考	下水道事業の体制づくりにつきましては、効率的な執行体制の確保に努めるとともに、公民連携の取組により持続可能な事業運営を行ってまいります。いただいたご意見は、今後の計画策定の参考とさせていただきます。
土木事務所の所長に事業を熟知した人事配置をお願いしたい。	参考	責任職員の人事異動については、職務経験を通じた職員の人材育成や適材適所の配置による職員の能力を活用することで、執行体制の安定化を図り、市民サービスの向上につなげることを目的に、職員の経歴、適性など様々な観点から総合的に判断して人事異動を行っております。
民営化は絶対にしないでください。水道同様、下水道は大切なライフライン。	その他	現在、下水道事業において民営化の予定はございません。

■下水道 DX・技術開発

意見の概要	対応区分	本市の考え方
P102 地域バイオマス受け入れによるバイオガス（消化ガス）の増量に向けた検討について、ここで使われている「地域バイオマス」という言葉が具体的に何を指すのか分かりにくい。下の注釈を読んでもイメージがわからない。	反映	いただいたご意見をふまえ、該当部分の注釈を「地域バイオマス：その地域から発生する、動植物に由来する有機物であってエネルギー源として利用することができるもの。（化石燃料等を除く。）」に修正いたしました。
DX も喫緊の課題と思うが施設管理の効率化等での導入も重要と思う。	賛同・包含	本市では、施設管理（維持管理、更新等）へのデジタル技術の導入も含め、下水道事業の業務全体を対象として、DXの推進を位置づけています。いただいたご意見は、施策5「維持管理」及び施策10「下水道 DX・技術開発」を進める上で参考にさせていただきます。
温暖化対策には技術革新や新しいアイデアが必要だと思うが、技術開発は民間任せにせず、官民や産官学で協力しながら行い、少しでも経済的に下水道を運営できるように努力すべき。	賛同・包含	本市では、本市が所有する技術や施設と、民間事業者や公的な研究機関が保有する先端技術や情報を組み合わせた共同研究の他に、研究会にて官民連携による技術開発を実施しています。引き続き、施策10「下水道 DX・技術開発」の取組を推進してまいります。
SDGs を掲げていますが下水道汚泥の再利用のほか、発電等研究を進めてほしい。	賛同・包含	本市ではこれまで消化ガスによる発電や下水汚泥の燃料化など、下水道資源を活用した事業に取り組んでまいりました。引き続き脱炭素社会や循環型社会への貢献に向け、技術開発に取り組んでまいります。
全体として分かりやすく整理できていると思う。世の風潮として、ICTの活用=DXという誤解があるようなので、貴市においてもそういう陥穽に陥らないように留意してほしい。掲載の下水道台帳、BCP、排水設備計画のオンライン化などはまさに DX で問題ないと思うので、貴市においてはそういう理解が進んでいると思い安心した。	賛同・包含	DX は単なる ICT 化ではなく、デジタルを用いた業務の変革と捉えています。いただいたご意見は計画へのご期待と捉え、施策10「下水道 DX・技術開発」の取組をより一層推進してまいります。
脱炭素化を進めるためには技術開発が必須。処理場運転管理、下水道管維持管理など、いろいろな分野で技術開発をしていく必要がある。今後、横浜市としてどのように技術開発を進めていくのか、技術開発計画の策定が必要ではないか？	参考	現在、技術開発に関する計画を策定する予定はございませんが、いただいたご意見は施策10「下水道 DX・技術開発」を進める上での参考とさせていただきます。
P98 施策10. 下水道 DX・技術開発 現状と課題【技術開発】及び P101 取組 56 民間事業者や大学などの研究機関と連携した研究の実施について民間事業者からの様々な提案を求めていることを記載したらどうか。技術を持った事業者積極的に提案してもらうような姿勢を見せることが重要と思う。	参考	公募型共同研究の活用や本市のニーズとシーズ技術がマッチングできるよう新たな手法の検討など、いただいたご意見は施策10「下水道 DX・技術開発」を進める上での参考とさせていただきます。
P101 省エネ型 MBR（膜分離活性汚泥法）の導入検討について、水再生センターの再構築を進めて行く上で重要な技術と思うが、その視点をここに記入するか、P73 水再生センター等の再構築・再整備で紹介してはどうか。	参考	省エネ型 MBR（膜分離活性汚泥法）については、導入に向けた調査・研究を実施している段階です。そのため、現時点ではご指摘の項に記載いたしかねますが、将来的には記載できるよう施策10「下水道 DX・技術開発」の取組を推進してまいります。
DX の取組をしっかりと進めてほしい。雨水管理情報を一元化し、施設改良や運転改善につなげる取組は、スピード感をもって進めてほしい。将来的には予測運転などにもつなげてほしい。汚水処理や合流改善などの水質データをリアルタイムで計測し、自動運転にすることで業務の質の向上や効率化を進めてほしい。	参考	いただいたご意見は、施策10「下水道 DX・技術開発」を進める上での参考とさせていただきます。計画を着実に推進してまいります。

意見の概要	対応区分	本市の考え方
<p>技術開発の内容が脱炭素に関する視点多い。下水道本来の役割である処理技術や雨水排除、またこれらを担う施設の建設や維持管理の技術に関する記述がもっとあってもいい。</p>	<p>参考</p>	<p>「脱炭素化社会の実現」以外にも「頻発する豪雨への備え」、「老朽化による改築更新・再構築」及び「処理水質改善」などを下水道事業が直面する課題解決と捉え、脱炭素技術やDXの推進に関する技術開発を中心に、施策10「下水道DX・技術開発」の取組を推進してまいります。</p>
<p>水処理の省エネでは、D0制御からアンモニア制御に換えている旨の記載があるが、なぜ省エネと水質の両立になるのかわかりづらい。</p>	<p>参考</p>	<p>アンモニア制御は、流入負荷量に応じて適正な量の空気を反応タンクに供給することができるため、処理水質と省エネルギー化の両立が期待できる制御方法です。</p>

■下水道事業のプロモーション活動

意見の概要	対応区分	本市の考え方
水環境を中心としたプロモーションは重要で積極的に進める必要がある。特に子供たちをターゲットとすることは効果があり、出前授業など市と民間事業者等がコラボして推進することなど効率的な取組が望ましい。	賛同・包含	本市では「夏休み親子の下水道教室」や「出前講座」などの市内の小中学生や地域の皆様を対象とした環境活動等を実施してまいりました。いただいたご意見は、施策 11「下水道事業のプロモーション活動」を進める上で今後の参考とさせていただき、引き続きプロモーションの取組を進めてまいります。
市役所 2 階での下水道の展示や、センスの良い展示内容からホームページを閲覧した。下水道事業は目立たないが、良い取り組みをしている。もっと市民に知ってもらおうようアピールすべき。	賛同・包含	展示のイベントにお越しいただき、誠にありがとうございます。いただいたご意見は、計画へのご期待と捉え、施策 11「下水道事業のプロモーション活動」を進める上での参考とさせていただきます。
各施策に SDGs アイコンが表示されているため、その施策の意義と計画実施の理解に役立った。下水道事業の広報パンフレットを作成する際には、該当 SDGs アイコンを表示することで若い世代にも下水道事業の理解が進むと思う。	賛同・包含	下水道事業が SDGs に貢献していることへの理解を深めるため、アイコンを表示いたしました。いただいたご意見は、施策 11「下水道事業のプロモーション活動」を進める上での参考とさせていただき、今後も SDGs の目標達成に貢献してまいります。
下水道事業などわかりやすく伝えてもらえると安心して利用できると思いました。	賛同・包含	今年、横浜市は近代下水道導入 150 年の節目の年であることから、横浜下水道を知らない市民の方にも下水道事業をわかりやすく知っていただけるような広報活動を行っております。パンフレットや広報よこはま、twitter やホームページ等の SNS を含め、今年に限らず今後も下水道事業について、わかりやすく継続した発信に努めてまいります。
「施策 11. 下水道事業プロモーション活動」について、水道局のように、作業服に「下水道部」をプリントし、「下水道の維持管理活動の見える化」を行ってはどうか。	参考	貴重なご意見の一つとして今後の横浜下水道事業プロモーション活動の参考とさせていただきます。
下水道事業について知る機会がなく、今どんなことに取り組んでいるのか分からない。下水道事業を広くアピールできるといい。	参考	今年、横浜市は近代下水道導入 150 年の節目の年であることから、横浜下水道を知らない市民の方にも下水道事業をわかりやすく知っていただけるような広報活動を行っております。パンフレットや広報よこはま、twitter やホームページ等の SNS を含め、今年に限らず今後も下水道事業について、わかりやすく継続した発信に努めてまいります。

■収入確保と支出削減

意見の概要	対応区分	本市の考え方
P112 雨水公費・汚水私費 についてここでは説明がないので、わかりやすく記載されているページ(P121)に誘導してはどうか。	反映	いただいたご意見の通り、本編 P112 雨水公費・汚水私費の記載部分に、より詳細な説明をしている P121 のコラムを参照する文言を追記いたします。
P115 カーシェアリングを含む駐車場の取り組みはとて面白いと思う。	賛同・包含	いただいたご意見を参考に、今後もさらなる収入が見込める事業の模索等、下水道用地の利活用に向けて取組を推進していきます。
下水道事業中期経営計画 2022 を見ると様々な課題が良く分かる。水道の使用量は減っており、今後は市民数も減少が続くと思う。上水道、下水道ともに、設備の老朽化は進んでおり、減少する料金収入と増大するであろうメンテナンス費用や管の更新費用等をどのように捻出するか、大きな課題と思う。運営の経費に関して、国債はよく目にすることがあるが、企業債は全く目にする事がない。もっと PR をしても良いのではないか。	参考	横浜市では、市債の発行においては、企業債も含め横浜市で一括発行しており、その発行等に関する情報は市財政局のホームページに掲載されています。いただいたご意見は、施策 12「収入確保と支出削減」を進める上での参考とさせていただき、今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
温暖化対策や老朽化対策など、まだまだやるが多くて必要性も分かりますが、下水道料金の値上げはいつ頃やるのか？値上げしないで済むように工夫してほしい。	参考	計画へご理解いただきありがとうございます。本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
浸水対策、地震対策共に少し不足していると考えため、護岸やポンプ場の建設にグリーンボンドの様に個人から資金を集めてはどうか。	参考	浸水対策、地震対策等の財源としての下水道事業債を、横浜市全体で取りまとめた「横浜市債」として発行しています。その購入を通して、幅広くみなさまから下水道財政を支えていただいています。いただいたご意見を参考に今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
P119 国土強靱化。5年は短い、国へ要望して下さい。	参考	下水道の浸水対策、地震対策、老朽化対策など国土強靱化に係る予算確保について、様々な機会を捉え、国へ要望してまいります。

■財政収支計画

意見の概要	対応区分	本市の考え方
水道は料金値上げになりましたが、下水道料金は値上げしないでほしい。	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
下水道料金は現状維持か、下げて貰いたい。	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
P127 4か年の下水道整備費について、「下水道 DX・技術開発」について中期経営計画 2018 では 131 百万円が計上されているが、中期経営計画 2022 ではゼロ計上である。「下水道 DX・技術開発」の取組についてどのように進めるのか疑問である。	参考	施策ごとの4年間の事業費は、本編 P8 に記載しております。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
料金高い	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
下水道代が高い気がする。	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
料金を下げてほしい。	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
料金がもう少し安いと助かる。	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
水道代と同じ位の下水道代が取られるので、下水道代をもう少し安くしてほしい。	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
料金がどんどん高くなる。	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
料金が下がったら嬉しい。	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
料金も安くなるとうれしい。	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
料金をもっと安く。	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
料金高い。	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
値段が高い	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
下水道料金を下げて欲しい。	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
料金が高い	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。

意見の概要	対応区分	本市の考え方
料金が高い	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
料金を安くしてほしい。	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
使用料収入が収益的収入の 50%を下回っている状況であるが、少なくとも 50%を超えるよう、利用者の理解を求め、使用料収入を上げる事もやむを得ず（受益者負担の原則として）選択肢とすべき。	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
財政収支計画は、図で示してあるほうがわかりやすい。	参考	いただいたご意見は、今後の計画策定の参考とさせていただきます。
P118 財政収支計画で、2025 年まで現行の使用料とあるが、22 年 10 月の物価上昇、欧米の金利上昇でややリスクが見える。	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。財政収支の長期推計につきましては、本計画期間における状況を注視しつつ、4 年毎に見直しを行い、持続可能な事業運営を行う上で必要な取組を行ってまいります。

■財政収支の長期推計

意見の概要	対応区分	本市の考え方
市民意見募集パンフレットに記載の施策 12 の主な取組の3点目の「対応策を検討」は「財源と施策を両立する方策の検討を実施」と修正してはどうか。文末を「検討」で止める表現は、市民にはやるのかやらないのかわからない。	参考	計画本編における財政収支の長期推計につきましては、本計画期間における状況を注視しつつ、4年毎に見直しを行い、持続可能な事業運営を行う上で必要な取組を行ってまいります。
財政収支の長期推計は、将来の方向性がわかってとてもよい。これをみると利益が減っていくので、下水道料金を将来値上げすることになるのか。長期的な見通しについても書いてほしい。	参考	本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。財政収支の長期推計につきましては、本計画期間における状況を注視しつつ、4年毎に見直しを行い、持続可能な事業運営を行う上で必要な取組を行ってまいります。

■参考資料

意見の概要	対応区分	本市の考え方
参考資料の進捗目標の欄について、計画開始時及び計画終了時の欄に西暦を記載し、和暦を併記してはどうか。	参考	市民意見募集パンフレットでの表記についてのご意見と存じます。計画本編では、西暦、和暦を併記しております。

■その他（分類できないもの）

意見の概要	対応区分	本市の考え方
私道に関係する工事をお願いしたい。	参考	現地の状況を踏まえ、各区の土木事務所と連携して取り組んでまいります。
市民意見募集パンフレットの表紙の写真は何の写真なのか？目がちかちかする。	その他	表紙の写真は、処理されてきれいになった下水が、水再生センター内の池から流れ出す様子を撮影したものです。
下水（風呂場）の臭いのメンテナンス。メンテナンスをどうしたら良いか分かりにくい。	その他	排水栓、排水トラップの詰まり等の清掃が原因として考えられますが、宅地内の排水設備の清掃や管理は、その所有者が行うことになっています。自分で清掃することができなときや修理等の必要がある場合は、「横浜市排水設備指定工事店等」にご相談ください。
水道代が安くなると助かる。おいしく安全なお水が水道から出てくれたら嬉しい。	その他	水道料金及び水道水の管理につきましては、環境創造局の管轄外になります。なお、下水道使用料につきましては、本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
水道が高いので下げてほしい。	その他	水道料金につきましては、環境創造局の管轄外になります。なお、下水道使用料につきましては、本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
冬の水道管の凍結	その他	水道管の凍結についてのご相談は、環境創造局の管轄外になります。
水道代金が昨年より 3000 円くらい値上がりしたので少し困っている。	その他	水道料金につきましては、環境創造局の管轄外になります。なお、下水道使用料につきましては、本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
用水があふれる場所があるので対策願いたい。	その他	現地の状況を踏まえ、各区の土木事務所と連携して取り組んでまいります。
水道管の耐震・補強を確実にお願いしたい。	その他	水道管につきましては、環境創造局の管轄外になります。なお、下水道管の耐震化につきましては、本編 P38 に記載のとおり、対象の下水道管において耐震化を着実に進めてまいります。
もう少し水道料金をさげてほしい。	その他	水道料金につきましては、環境創造局の管轄外になります。なお、下水道使用料につきましては、本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
水道料金が高いので値下げしてもらいたい。	その他	水道料金につきましては、環境創造局の管轄外になります。なお、下水道使用料につきましては、本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
水道料金面の改善	その他	水道料金につきましては、環境創造局の管轄外になります。なお、下水道使用料につきましては、本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
災害時の水の確保をお願いしたい。	その他	ご家庭における災害時の水の確保につきましては、環境創造局の管轄外になります。

意見の概要	対応区分	本市の考え方
断水は絶対に避けてほしい。	その他	上水道の断水につきましては、環境創造局の管轄外になります。
水道使用料が高額。安くして欲しい。	その他	水道料金につきましては、環境創造局の管轄外になります。なお、下水道使用料につきましては、本計画期間中は現行の使用料単価・体系を維持してまいります。今後も健全な財政運営を進め、持続可能な下水道事業を目指してまいります。
トイレの設備を詰まらなくして欲しい。	その他	宅地内の排水設備の清掃や管理は、その所有者が行うことになっています。自分で清掃することができないときや修理等の必要がある場合は、「横浜市排水設備指定工事店等」にご相談ください。トイレのほか全体的に排水の流れが悪い場合は、詰まりの原因が横浜市で管理している下水道管（接続ますの先の取付管や下水管）であると考えられるので、お住まいの区の土木事務所にご相談ください。
おいしいお水が飲みたい。マンションの水道水を水道管直通にしてほしい。	その他	水道水の給水方式につきましては、環境創造局の管轄外になります。